

市民と野党の共闘で政治
を変えよう。憲法、くらし、
平和を大切にする都政を

都民がつくる革新都政

発行：革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031
HP:https://www.kakushintosei.net
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部 25円、送料は別途)

都知事選挙で小池自民党都政にサヨナラを

都民ファースト、都民置き去り予算が成立

都議会第1回定例会で、異常な物価高騰、社会保障の連続改悪、消費税増税に苦しむ都民に冷たく背を向ける小池都知事の財界ファースト、都民生活置き去りの姿勢があらためて浮き彫りにされました。



東京地評・都民連・東京社保協
都議会開会日宣伝行動

2024年都議会第1回定例会が3月28日に終了しました。この議会では一般会計で3年連続過去最高の8兆4530億円(全大会計16兆5584億円)の予算案が提案され、審議がおこなわれました。提案された予算の内容は新型コロナウイルスにつづく異常な物価高騰、消費税増税、社会保障の連続改悪、雇用破壊、貧困と格差の拡大に苦しむ都民に手を差し伸べ、都民生活の防衛に全力を尽くすものとはほど遠く、国民健康保険、後期高齢者



黒書は、財界ファースト、都民置き去りの都政をすすめる小池都政の8年を都民の目線から、徹底的に分析し、検証をおこなったものです。都知事選挙での論戦、対話に役立たせていただきたいと作成しました。

<頒価> 300円
郵送か宅配便でお届けします
<申し込み> 下記のFAXかE-MAILで
03-5978-5052
info@kakushintosei.org

医療、介護保険の同時値上げ、都民施策へのマイナスイノベーション(予算カット)の押しつけ、さらには保育所待機児対策や高齢者や低所得者障害者の生活支援、都営住宅の建設、少人数学級の拡大、教員の確保などの切実な都民要求に背を向けるものでした。

その一方で予算案は「稼ぐ都市」の施策については「聖域」扱い、マインスイーリングの枠外とし、超高層ビルによる明治神宮外苑や築地市場跡地などの再開発、外かく環状道路や特定整備路線などの東京大改造には湯水のように税金を投入するもので、まさに財界ファースト、都民置き去り予算に



4月2日夜
東京労働会館
ラパスホール
で、2024
年都知事選挙
市民と野党の
共闘ネット
ワークが呼び
かけた「都知
事選挙政策を都民目線、みんなで
考え、つくっていく会」が開催され、
各地で共闘をたたかう団体や区長
選挙で奮闘された候補、東京地評
や東京医連、新婦人の会、東京教
育連絡会、東京平和委員会などの
各団体などから、47人が出席さ
れ、6月20日告示の都知事選挙
を市民と野党の共闘でたたかう政
策について、熱く語り合いました。

はじめに中山伸座長から市民と野党が一堂に会した1・24キックオフ集会の成功と「行動提起・ア

この提起を受け、ネットワークの要請に応じて事前に登録がおこなわれた14団体・個人からの提案・要求の発表を軸に21名から、報告・提案がおこなわれ、福祉、医療、子育て、教育、くらし、雇用、業者、青年、基地、道路と再開発、ジェンダー平等など各分野にわたる提案・発言がおこなわれました。

都知事選挙政策に提案つぎつぎ

都民参加、ボトムアップで政策をつくらう

「ピール」を契機に、市民と野党の共闘による「候補者選定委員会」の発足、各地での共闘の発展・ひろがりをつくりだしていることが報告されるとともに、都知事選挙政策について決められたものを待つというのではなく、切実な都民要求を土台にみんなで持ち寄り、考え、ボトムアップでつくりあげていくことの重要性が訴えられました。

小池都政の実態明らか

この提起を受け、ネットワークの要請に応じて事前に登録がおこなわれた14団体・個人からの提案・要求の発表を軸に21名から、報告・提案がおこなわれ、福祉、医療、子育て、教育、くらし、雇用、業者、青年、基地、道路と再開発、ジェンダー平等など各分野にわたる提案・発言がおこなわれました。

革新都政をつくる会

会報集
2024年定期(4月12日)の特
告は5月号で
をおこない

都議会第2回定例会

開会前宣伝行動
5月28日(火) 17:00~
新宿駅西口

開会5月29日(水) ~
閉会6月12日(水) 予定

▼坂本さんはこうも言う。「住民一人一人が自分の住みたい場所へのビジョンを持ち、そのビジョンが共有されて都市の姿を形作る。その先に政治家やリーダーを選ぶ。幸運なことには知事を選任する機会目の前だ。坂本さんが死ぬ間際まで燃やし続けた遺志をかみしめ、主権者としての責任を果たしたい(駒

* 青い空 *
寒さが残る3月の
終わり、ラジオから映
画音楽「戦場のメリー
クリスマス」が響いて
きた。哀しくも切ない
このメロディー、作
曲者の坂本龍一さん
は涙を流しながらつ
くったという。坂本さんが
なり1年を経た今、小池知事
はどう聴こえるだろう▼小池知
事は、坂本さんの病床から神宮
外苑再開発の中断・見直しを求
めた手紙に答えなかった。他者
への共感を削ぎ落した小池知事
の専横は、以後やむことなく続
く。規制を緩和し事業を認可し
た責任を棚に上げ、都議会定例
会、決算特別委員会で、傲慢に
も答弁拒否を貫いたのだ▼計画
は東京五輪と地続きで、都と一
部政治家、事業者らが結託した
と噂されるもの。坂本さんの手
紙に「開発によって恩恵を得る
のは一握りの富裕層にしかあり
ません」とあるが、今や「財界
ファースト」の小池知事、答え
ることが出来なかつたのだらう
▼坂本さんはこうも言う。「住

特定整備路線・地上げ部隊設置はやめよ！ 全都連絡会が都知事に申入れ

今年1月、小池都知事は2024年度予算編成の知事査定で、突如、都市計画道路特定整備路線について、実質的な地上げ部隊となる「機動用地取得課」を設置することを決めました。この予算は建設局の予算要求にはなかったもので知事の鶴の一声で、木造住宅耐震化予算の100倍となる経費70億円、体制63名もの予算が決められたのです。もともと特定整備路線(18地区、25路線)は78年前の戦災復興計画として計画されたもので、住民の立ち退き、商店街潰しなどから住民や自治体の反対をうけ事実上の廃止路線となっていたもので、現在も用地の買収は遅々としてすすんでいないのが現状です。残された計画期間は2年しかありません。にもかかわらずバブル期に暗躍、都民の厳しい批判を浴びた「地上げ」を「住民の福祉の増進」を責務とする東京都がおこなうなど許されません。



24春闘 - 物価高騰を上回る 持続的な賃上げの正念場

東京地評事務局長 井澤 智

物価高騰に賃金が追い付かず実質賃金が23カ月連続でマイナスとなる情勢で、24春闘は物価上昇を上回る持続的な賃上げを勝ち取るべく、粘り強い奮闘が続いています。3月7日には、日比谷野外音楽堂で中央総決起集会を開催し200人以上が集まり、要求の貫徹を意思統一しました。

要求への統一回答指定日の3月13日、要求額に及ばない回答を示した経営に対し全国でストライキを実施し、東京地評加盟組合では産別組合の垣根を超えた支援に入っています。全国の産別組合の統一行動では3月から4月にかけて、医療、交通、建設、運輸、公務の仲間が経営との交渉や省庁、国会議員要請に取り組んでいます。

大企業を中心に組織する組合では33年ぶりの「高額回答」5.24%の賃上げと集計され、大手マスコミでも賃上げムードが報道されています。

ていませ。しかし、実質賃金は2月まで23カ月連続でマイナスであり、4月からは1万5千品目もの値上げが予定されるなか、物価高騰を上回る回答とはなっていない。

東京地評も参加する国民春闘共同委員会は中小企業の組合が中心に組織しており、4月の集計では賃上げ回答が2.58%と昨年同時期より0.52ポイント上回っていますが、苦戦しています。

東京地評がコロナ禍前2019年に実施した最低年計費調査では、新宿で1人暮らしするには少なくとも時給1700円以上が必要との調査結果が出ています。実態は、昨年10月に行った独自の募集時給調査で平均募集時給は1221円であり、暮らせる賃金ではありません。

大企業の本社が集中し莫大な法人税収等が入る東京都は、原材料価格の高騰を上位企業に価格転嫁で

きない中小企業を守るため、独自の相談窓口の拡充と大手上位企業の価格転嫁調査ならびに指導、その上で積極的な真水の支援策を実施するなどの施策が求められています。

東京都には都内で働く圧倒的多数の労働者の賃上げを促す責務があります。少なくとも都内で働くパート・非正規・アルバイトの時給が1500円以上になるよう引き上げた時給分を補填するなどの施策は、財政的な裏付けを含めて東京都でしかできない施策です。低所得層の賃上げは、都内経済活動に消費されて経済に好循環を生み出すものです。また、本当の環境対策は大規模再開発ではなく、中小零細企業に対する温室効果対策の補助制度の簡素化と拡充です。

2024年の東京都知事選挙では、労働組合の要求を実現する都知事誕生をめざしていきます。

視覚障害者の願いが花咲く都政に変えよう

東京視覚障害者協会が都知事選挙学習会開催



3月20日、東京視覚障害者協会(東視協)が革新都政がもたらした障害者福祉の歴史を学び、いまに生かす集会「つくる視覚障害者の願いが花開く東京都政」を開催しました。講演にたった革新都政をつくる会中山伸事務局長は「小池都政が誕生して8年。この間、都民の暮らしは良くなったでしょうか」と訴えることも

が憲法25条を基本に「シビルミニマム」を提起し、障害者の生きる権利保障に踏みだしたことを紹介。今回の都知事選挙で市民と野党の共闘で都政を転換しようと呼びかけました。

東視協副会長の山城完治さんは革新都政が実現した様々な視覚障害者のための施策とその後の都政による攻撃とのたたかいを紹介。心身障害者医療費助成制度の廃止の動きに対して「1ヶ月の座り込みでこれを阻止」させたことなどを報告しました。集会では6月20日告示の都知事選挙で都政を変えようと決意を固めました。

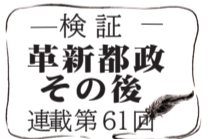
に、小池都知事の財界ファースト、都民置き去りの都政の実態を具体的に数字で示して告発。革新都政

小池都知事は今年夏の都知事選挙を意図して、子育て世代に毎月5000円を補助する「018サポート」予算や高校授業料無償化、住民税非課税世帯への1万円商品券の配布などを矢継ぎ早に打ちだしています。しかし、これらの予算は、都庁内でも「都知事選挙に向けたパフォーマンス予算」と揶揄されているものです。

実際にこれらの予算は、各局の予算編成過程では知事サイドからは提起されず、最終段階の1月冒頭の知事査定で突然、「知事の提案」というかいつせいに報道することを狙ったもので、話題性、マスコミ受け、さらには、都知事選挙対策を意図したものに他なりません。

しかもこれらのパフォーマンス予算は単年度の予算措置として実施されているもので、知事の意向一つでいつでも廃止できるといふ、知事のさじ加減一つという危うい仕組みであることを考えれば、到底、小池都知事の手柄などといえるものではありません。

これらの予算は強い都民要求が都政を動かしたものであり、本来は、革新都政が都民要求に応じて制度化した「児童育成手当」や「公私格差の是正事業」のように、恒久的な経済給付事業として実施すべきものです。



小池都政8年⑤ ポピュリスト・小池百合子

卯月はじめ

いま、世界で危険なポピュリズムが台頭し、人々が皆々として築きあげてきた世界の秩序、平和が脅かされています。

一方、小池都知事は自身の2回の都知事選挙や都議会議員選挙、国政選挙をつうじて、自民党政治との対峙を強く打ちだした劇場型選挙を演出するとともに、「都民が決める 都民と進める」「女性」「環境」などをキャッチフレーズに、あたかも自身が都民の味方であり、女性の代表であり、環境の先駆者かのように演出してきましたが、この8年が示したその姿は真逆のものであり、ポピュリズム政治そのものであったことを指摘しなければなりません。

この点について、一橋大学の伊藤直也氏は石原都知事を分析した論文のなかで、「現代ポピュリズムの諸特徴」として、①敵の創出と無党派層の支持獲得、②メディアの利用、③新保守主義の性格と新自由主義的性格、④民主主義的プロセスの迂回を指摘しています。この指摘はそのまま小池都知事の政治姿勢・都政運営に当てはまります。

税金を使ったパフォーマンス

日本の三大都市圏の地方選挙で自民党が敗れ、大都市圏の利益を重視するポピュリスト的な地域政党が権力を握っている。

水島治郎千葉大学教授
The Asahi Simb
unglobal2018 .
09.21)

都道府県の議会選だと、議員は選挙区の2/3割の得票で当選できます。だから当選可能性を高めるには、商工会議所やJA労働組合など、部分利益の代表者として振る舞うのが一番合理的です。反対に、首長が選出されるのは小選挙区制ですから、浮動票を取り込まないと既成政党の候補者には勝てない。票が集中していて既得権益で固まっているところ、すなわち都市部のホワイトカラーの支持を集めないとなりません。だから、議会や既得権益を非難すれば、当選可能性が高まります。自分の政治的意見がどうであって、当選を至上目的にしてそこから逆算すると、首長候補者はポピュリスト的な言動や政策を訴えることが合理的になっていきます。

政治社会的立場には保守的で、経済的には保護主義的です。既成政党が政治的、経済的な危機に対応できない中で、その隙間を埋めたのがポピュリスト勢力。

吉田徹北海道大学教授
The Asahi Simb
unglobal2018 .
09.06)